

## 第4回運営委員会議事録

日時:平成18年1月24日(火)

場所:名古屋大学医学部基礎管理棟

出席者:三上春夫、上島弘嗣、嶽崎俊郎、渡邊能行、小笹晃太郎、喜多義邦、若井建志、松尾恵太郎、溝上哲也、有澤孝吉、主任研究者(浜島信之)、中央事務局(内藤真理子、西尾和子、石田喜子、長船 智、水谷恵子)

### 議事内容

研究計画書、手順書等の変更箇所について確認した。

- ・ 第4回モニタリング委員会から指摘のあった箇所(研究計画書)の修正について了承を得た。
- ・ 他研究による調査資料・生体試料利用が主任研究者に申請された場合の対応について原則として、運営委員会、モニタリング委員会での検討を経て、申請をおこなった施設の倫理審査委員会、名古屋大学倫理審査委員会、研究協力者から調査資料・生体試料の提供を受ける施設の倫理審査委員会の順で審査を受けることとなった。
- ・ 説明文書「5. 研究協力者の権利」について、「この研究の結果として、特許権が生じた場合、権利は研究機関などに帰属することをご理解ください」と文章を修正することとした。

コントロール検体(血清・血漿)保管手順書(案)

- ・ 主任研究者より手順書案が示され、目的の確認ならびに方法についての討議をおこなった。
- ・ 各コーホート研究実施グループからのコントロール検体の提供については、今後の検討課題とした。

高島研究

- ・ 滋賀県で行われる高島研究ならびに使用予定の調査票についての説明があった。
- ・ J-MICC 共通調査票を基に高島研究の調査票項目や構成について再度検討することとなった。

J-MICC 中央事務局における同意撤回の手順に関する取り決め(案)

- ・ 第4回モニタリング委員会の指摘を受けて主任研究者より取り決め案が提示され、それらの内容について討議をおこなった。

研究計画の検討手順

- ・ 各コーホート研究実施グループの研究計画の検討手順について確認した。
- ・ 中央事務局長に提出された研究計画書、手順書、調査票を、中央事務局、社会的諸問題検討委員会、モニタリング委員会にて検討をおこなうものとする。

その他

- ・ 全体の研究計画書や手順書の改訂に伴い、各コーホート研究実施グループの研究計画書や手順書で改訂が必要な箇所のリスト作成の要望があった。
- ・ がん登録が整備されていない地域での追跡方法について意見交換があった。
- ・ すでに調査開始しているコーホート研究実施グループにおいて、検体量が確保できない場合について状況ならびに対応を確認した。中央事務局へ提出する検体情報に溶血及び乳糜に関する記録も含めることとなった。
- ・ J-MICC HP の共同研究者用ページ(あるいは共同研究者専用 HP)作成の要望が出された。